

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成21年4月9日 (2009.4.9)

【公開番号】特開2006-283017(P2006-283017A)

【公開日】平成18年10月19日 (2006.10.19)

【年通号数】公開・登録公報2006-041

【出願番号】特願2006-65084(P2006-65084)

【国際特許分類】

C 0 9 D 11/00 (2006.01)

B 4 1 M 5/00 (2006.01)

B 4 1 J 2/01 (2006.01)

【F I】

C 0 9 D 11/00

B 4 1 M 5/00 E

B 4 1 M 5/00 A

B 4 1 J 3/04 1 0 1 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月19日 (2009.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 6 8】

[記録ユニット]

本発明にかかる記録ユニットは、前記した本発明のインクセットを構成する複数のインクを収容するインク収容部と、該インクを吐出するためのインクジェット記録ヘッドとを具備してなる。記録ユニットは、上述のようにヘッドとインクカートリッジとが別体となったものに限らず、図 3 に示すような、それらが一体になったものにも好適に用いられる。図 3 において、7 0 は記録ユニットであり、この中にはインクを収容したインク収容部、例えば、インク吸収体が収納されており、かかるインク吸収体中のインクが複数オリフィスを有するヘッド部 7 1 からインク滴として吐出される構成になっている。インク吸収体の材料はポリウレタン又はポリプロピレンを用いることが好ましい。又、インク吸収体を用いず、インク収容部が内部にバネ等を仕込んだインク袋であるような構造でもよい。7 2 はカートリッジ内部を大気に連通させるための大気連通口である。